



2014-15年度R.I.テーマ  
ロータリーに輝きを



齋藤 博重会長

第2596回 例会 会長あいさつ

2015. 6. 18

週報 No.2042  
発行 2015年 6月25日  
会長 齋藤 博重  
幹事 久保田 勲  
副会長 齋藤 哲雄  
副幹事 藤村 作  
編集責任者  
クラブ広報委員長 長沼 大策

ビジターゲスト  
米山記念奨学生  
周 彬 (しゅうびん) 君

- 7月2日 新旧会長・幹事引継式  
卓話 第5Gガバナー補佐  
大國 博様
- 7月9日 新任役員挨拶  
新年度事業計画発表・  
予算審議
- 7月16日 クラブフォーラム①  
前年度事業報告、決算報告
- 7月23日 会員増強、ロータリー財団、  
米山記念奨学セミナー報告
- 7月30日 定款の規定により休会

皆さんこんにちは 本日も出席を頂き誠に有難うございます。米山記念奨学生の周さん、ようこそおいで頂きました。月曜日にパーカー君と食事をした時に日本で一つの目標でありました柔道の黒帯を取得する昇段試験に合格したと聞きました。努力が実り良かったと思います。以前に会長挨拶で「第一印象」「第二印象」「第三印象」の話しましたが、関連した記事を見ましたので、紹介したいと思います。アメリカの心理学者メラビアン氏は、外見は、人を判断するうえで大きな要素の一つであるという法則(メラビアンの法則)を提唱しました。これは、人の行動が他人にどのような影響を及ぼすかを研究した際、「話の内容」が7%、「話し方」が38%、そして「外見」が55%という割合で構成されるということです。彼は、同時に人が相手を受け入れるまでには4つの壁があると申しております。第一の壁は「話し方」第二の壁が「態度」第三の壁が「話し方」第四の壁が「話の内容」であります。対人関係においては、まず外見に関わる壁を突破しないことには、その後の展開につなげていくことは難しくなるということです。体型は別として、外見は、意識をすれば簡単に変わることが出来ると思いますので、気になる方はイメージチェンジは如何でしょうか。

もう一つ、明日の名言について話をしたいと思います。明日の名言とは、あしたをテーマにした名言や格言のことです。明日という言葉には、希望があります。前進への響きがあります。より良い明日のため今日であることが全ての人の願望ではないでしょうか。

「あしたのために」という名言を聞いて、思いつくのが「あしたのジョー」ではないでしょうか。主人公の矢吹丈という若者が、元ボクサーの丹下段平と出会い、自分への段平の情熱を利用して犯罪に手を染め警察に逮捕され鑑別所に入ります。鑑別所のジョー宛に段平から「あしたのために」という書き出しのハガキが届きます。「あしたのために」というハガキの内容は、「あしたのために」その1左ジャブ左ジャブの打ち方から始まる技術の講義です。鑑別所の生活で持て余していたジョーは、その講義に従って練習に身を入れ、やがて自身のパンチの切れが、これまでと比較にならないほど向上してゆくのを

実感して行きます。というストーリーがハガキ「あしたのために」にまつわるものです。手のつけられない少年が、あしたのために認められた名言によって蘇生していきます。

人間は、意味に生きる動物です。「何のために」「あしたのために」

「あしたのために」というのは、これ以上ない、明日への名言ではないかと思えます。

明日の名言とは、現実希望をつむぎだす力を持った言葉のことを言うのだと思えます。今日この話をしたのは、深澤会員に特に伝えたかったのですが、欠席で残念です。実は、最近仕事の関係もあり深澤会員がロータリーを離れようかと悩んでいるようがあります。深澤さんも縁があって多くの仲間がいるわけですから自分だけで悩まずに相談をして「あしたのために」頑張ってくれたらと思います。

本日は、尾花さんの自分史です。宜しくお願致します。有難う御座いました。

幹事報告

藤村 作 次年度幹事

先週FAXで送らせていただいた7月の行事予定表で変更があります。7月23日(木)は夜間例会の予定でしたが、あいにく会場の予定がつかせんで、昼間の通常通りの例会になりました。7月はすべて昼間の例会になります。



ビジターゲストあいさつ

米山記念奨学生 周 彬(しゅうびん)君

先週の土曜日に米山記念奨学生のセミナーを開催しました。内容は、これから米山記念奨学生は各地区クラブの中で卓話することになりました。そこで私も就活をしながら卓話の準備をしようと思えます。今まで簡単な挨拶や自己紹介程度でしたが、これからもっと具体的に自分の街や、今までであったことについて皆様にお伝えしようと思えます。ぜひよろしくお願致します。



例会主題 会員卓話

「自分史」

尾花 正明会員

私が生まれたのは1951年(昭和26年)、ちょうどサンフランシスコ講和条約(平和条約)が結ばれた年、11月10日、上尾で生まれました。実際は母の実家のある東京都大田区の池上病院です。ロータリークラブには、当時の会長である武重さんと大学の先輩である飯田さんの紹介で40歳のときに入会させていただきました。住まいは埼玉りそな銀行(昔の埼玉銀行)の隣です。私の生まれた頃の上尾はまだ人口1万2,000人足らず、宿場町の面影が残る小さな町でした。その後、昭和30年に上尾町・平方町・原市町・大石村・大谷村・上平村の6ヶ町村が合併し現在の上市市の地域が確定しました。昭和33年7月に市制が執行され、この年に上尾小学



委員長報告

親睦活動委員会 樋口 雅之委員長

いよいよ齋藤博重年度の最終例会が開催されます。場所はこちらのお部屋です。いま現在43名の出席のご連絡をいただいております。年度最後にふさわしい、楽しく盛りだくさんの内容で企画しておりますのでどうぞよろしくお願致します。



校に入学しました。小学校入学前の私は気が弱く、上尾幼稚園に2年保育で入園したものの、中途退園をしてしまい、改めて1年保育に入園し卒園しました。

幼い頃の思い出は、現在の西口駅前一带にあった昭和産業さんのデンプンの臭いと、文化センター前の道三橋でのザリガニ釣り、もうひとつは中山道を移動のため通過する戦車のキャタピラーの音です。戦後間もないことと1950年の朝鮮戦争の関係だと思えますが、アメリカ軍の戦車はキャタピラーのまま走行して凄まじい音を立て、夜も寝付けなかったことを記憶しています。

地元の小学校・中学校から明大中野高校へと進みました。当初私は東京の高校へ電車通学ができるということで希望に溢れていたのですが、校則で頭髪は五分刈りでした。また学校の先生は学徒動員での航空隊(特攻隊)の生き残りで、教鞭をとっている人が多くいました。明大中野高校はスポーツの盛んな学校で柔道や相撲の全日本チャンピオンが多数いる男子校で、クラブに入らないといけないと思射撃部に在籍しました。

その後、明大の政治経済学部に進んでわけですが、学生生活の中で大きな転機期となったのがロータリークラブとの出会いでした。今から45年前になりますが、当時ちょうど上尾西RC設立準備を行っていて、市内にロータリークラブは上尾RCしかありませんでした。今は他界していますが本来なら上尾RC輩出の初代ガバナーになるはずだった奥野寿様、上尾興業創業者の加藤金作様、樋口会員の翁爺様、親戚にあたる西川さん・島田さんをはじめとするロータリアンの指導の下、上尾にロータリークラブを設立しようということで数名が召集され、ほとんどの方はロータリアンの子弟や知り合いでしたが、私と、大木会員も召集され、ロータリークラブを立ち上げました。

当時20歳前後の私たちは、奉仕や国際理解と言われてもピンとこない事ばかりでしたが、まずは「同じ地域に住む同世代の仲間と、親睦第一に知り合うことから始めよう」と提案をいただき、モンシェリーの事務所や、商

工会館、サイギン、金属組合(ものづくり協同組合)の事務所などを例会場として借りながら、月2回の活動を開始しました。その後2年の歳月を費やして18名のメンバーとなって創立総会を迎えることができ、承認証伝達式を開催しました。

活動内容は割と活発で、魅力あることをしないとかなか会員は入ってこないだろうということいろいろ考え、親睦旅行(第1回目は那須のロイヤルホテル)、上尾高校インターアクトクラブと合同のボウリング大会、上尾園での釣り大会を行いました。奉仕活動としてはクリーン上尾運動、ロータリーアクト献血運動、上尾駅に置き傘寄贈を行いました。いちばん目玉になったのが、西オーストラリア、パースとの相互訪問等の活動です。魅力ある活動の中で少しずつ会員が増えていったのかなと思えます。

思い出としては当時、地区が千葉県と一緒の第357地区で、私が会長を仰せつかった年の地区代表は千葉県から輩出されたため、会長幹事会という、千葉市のニューナラヤホテルまで、旧16号国道を2時間30分かけて行った記憶があります。

そんな活動の中で、今のロータリーを予測していたかと思うのですが、故人となられましたが当時の浦和ロータリークラブに所属されていた、半田利一ガバナーが「これからのロータリー活動は、ステイタスとして上から目線で行動したり、施しをしているというような認識は厳につつしみ、汎ロータリーというように、多くのメンバーを糾合して広く全体にわたるようにロータリーを理解してもらわなくてはいけない」と力説されていたことが強烈に印象に残っています。

もう一つは、体調を崩されて退会しましたが、飯田実バスト分区分代理が、上尾のロータリーアクト委員長をされた年度に、埼玉単独の第357地区となり、この歳にロータリーアクト代表を仰せつかったため、文化センター大ホールで地区大会を主催しました。その際には上尾・上尾西RCの皆様には大変なお力添えをいただき、その



高校生の時に、埼玉国体で大会旗をリレー



上尾ロータリーアクト承認証伝達式



RCで甲子園出場。スコアボードに名前掲示

時に上尾RCで最も若いメンバーとしてご協力をいただいたのが大塚バスターグバナーです。

28歳でロータリーアクトを卒業し、同時に上尾青年会議所メンバーとして入会させていただきました。よくよく考えてみると、放置しておくとか何をかわからないからそのエネルギーを良い方向へ生かせるよう道しるべを先輩から与えていただいたのだと思、感謝をしています。先週でごさいます。青年会議所には多くの友人を得たのが最大の喜びでした。自分自身の交際範囲が大きく広がり、25代理事長を務めさせていただいたときには、島村バスターグバナーに専務理事という大役をおうけいただき、当時100人いた会員を一つにまとめたいただき改めて感謝を申し上げます。

あわせて日本青年会議所に出向させていただきました。出向していた時には、「北方領土特別委員会」に所属していましたが、クラブ内に吉川バスターグバナー、神田バスターグバナー、関連の委員会に門崎会員が所属されたことがあり、不思議な縁を感じております。

青年会議所を40歳で卒業することを、よく「社会復帰をする」というのですが、社会復帰してから10年くらいは団体には所属しなくていいかなと考えていましたところ、平成4年に父が他界し、当時の武重会長と飯田バスターグバナーに勧められてロータリークラブに入会させていただきました。

仕事についてはまた機会がありましたらお話しいたします。第2770地区のバナー広告から私の会社についてご覧いただければと思います。地区のバナー広告は1年間1万円ですのでご協力のほどお願致します。

ここまで生まれてからロータリークラブとの関わりをおおまかにお話ししましたが、振り返ると、ロータリーアクトで10年間、ロータリークラブが23年間で、63歳の人生のうち合計、33年間ロータリー関係の方たちにおつきあいをさせていただきながら、今日まで歩を進められたのかなあと、改めて感謝をしております。人生の50%以上がロータリーに在籍ということですから、自分の人生でどんどんパーセントを上げられるように最後までおつきあいをさせていただきたいと思っています。今までの人生、最大の宝は「人と人とのつながり」であると感じています。今後ともよろしくお願致します。



尾花会員、卓話ありがとうございました!

2015.6.18 パーカー君の送別会が開催されました

於:どん亭

パーカー君、また日本に遊びに来てね! See You Again!



スマイル

齋藤博重会長 / 齋藤哲雄副会長 / 久保田幹事 / 藤村副幹事 / 武重会員 / 岡上会員 / 大塚信郎会員 / 吉川会員 / 小林会員 / 富永会員 / 齋藤重美会員 / 井上会員 / 村岡会員 / 萩原会員 / 尾花会員 / 大木会員 / 細野会員 / 名取会員 / 大塚崇行会員 / 島村会員 / 関口会員 / 須田会員 / 樋口会員 / 野瀬会員 / 宇多村会員 / 古賀会員 / 長沼会員 / 齋藤修弘会員 / 北村会員 / 門崎会員

出席率			
出席 会員数	37	出席数	30
欠席 欠席数	7	(%)	81.08
前々回確定修正(%)	89.19	欠席数	4
		(M・U)	7

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新館エクセルビル303

例会場 東武バネケットホール4F(ボリアス) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

